

TAKE FREE

スマホで仏壇を試し置き！



仏壇AR



実寸大  
表記

360°回転

アプリ  
不要

AR(拡張現実)機能を使い、スマホで気になる仏壇を仮想的に置いて、サイズ感やデザインをお試しできます。

ARについて詳細はこちら▶



現代  
仏壇®

FREELY+  
2024



デジタルカタログ

全種類の現代仏壇・仏具をご覧いただけます▶



Yagiken 株式会社 八木研

大 阪/〒537-0011 大阪市東成区東今里 2-7-37  
TEL:06-6972-1201

東 京/〒146-0083 東京都大田区千鳥 1-10-12  
TEL:03-5747-5355

販売店

現代仏壇の作り手

※現代仏壇は八木研の登録商標です「現代〇〇仏壇」「〇〇現代仏壇」などは当社と一切関係ありません 類似品に注意してください  
※掲載商品は全て税込価格です ※製品の仕様は改善のため予告なく変更する場合がございます ※寸法表示と実際の寸法は多少の誤差がありますのでご了承ください  
※掲載写真の仏具等の組み合わせは一例です ※カタログは印刷の特性により実際の色と異なる場合があります ※記載内容は 2024 年 1 月 1 日現在のものです



# 現代仏壇の作り手

現代仏壇・仏具は全国の協力工房と提携し  
各々の工房の特徴を活かした商品開発をアウトソーシングで行っている  
今回は新商品を手掛けた工房のうち3社に取材して  
それぞれの工房がどのように仏壇・仏具を製作しているのかを伺った  
オンリーワンの高い技術力と 妥協しないものづくりを感じて頂きたい



オペラ  
¥143,000 税込  
W320 D282 H227  
(工房は P7-8 にて紹介)



AR

## INDEX

### 現代仏壇の作り手

- 3 高山家具製作所が語る  
他にはないものづくりとは？  
現代仏壇「 कोरोレ」
- 7 塗装の専門家、栗原木工所  
現代仏壇「オペラ」
- 9 <sup>たゆた</sup>揺蕩う水面 輝きを宿す琉球ガラス  
仏具「水影 美ら海」「水影 美ら波」

### 巻末コラム

- 13 私の仏壇コーディネート

### 商品情報の見方

- サイズの記号  
W/D/H 等の単位がない数字は  
商品のサイズ (mm) を表しています。  
W=幅 D=奥行 H=高さ
- QR コードについて
  - ・ MOVIE  
スマートフォン等で QR コードを読み取ると  
商品を詳しく説明した YouTube 動画を  
ご覧いただけます。
  - ・ AR  
スマートフォン等で QR コードを読み取ると  
画面に 3D の仏壇が表示されて  
実際の部屋に試し置きする事ができます。  
詳細は裏表紙をご覧ください。



# 高山家具製作所が語る 他にはないものづくりとは？

長野県松本市にある高山家具製作所。山に囲まれたこちらの工房で現代仏壇「 कोरोレ」は作られている。社長の高山正弘氏は「現代の名工」に表彰され、信州木工会名誉会長、信州草木染インテリア研究会代表を務めるなど長年木工分野に貢献してきた職人。高山社長と、その長男で同じく木工職人の高山佳国氏に話を伺った。



1.



2.



3.



4.



5.

1. 工房の内外には様々な木材が大量に積み上げられている。
2. 扉を組み立てる作業。10種類の無垢材54本を決まった配列に並べて繋げていく。
3. 仏壇本体の無垢の部材を削る西澤工場長。
4. 高山正弘社長(右)と高山佳国氏(左)。
5. 以前制作されたオーダーメイドのタンス。引き出しのデザインや素材が一つひとつ異なる個性的な逸品。

「人のやらないことをやってきた」と話す高山社長。高山家具製作所は元々オーダーメイドの家具を中心に取り扱い、伝統的な松本家具から寄木細工のタンスやテーブル、オルゴールと今まで制作してきた家具は多岐にわたる。購入者はリピーターや紹介が多く、お客様と直接やり取りをして改良しながら作ってきたという。量産品ではなく毎回違う家具を作るという手作業を要求されるものづくりは、他にはない高く繊細な木工の技術と、使う人たちのことを考えて細かな部分まで配慮した作品が特徴だ。

以前オーダーで仏壇を製作した経験があるので、今回の依頼は高山社長曰く「不思議な縁を感じた」とのこと。「家具と仏壇では製作する上で気持ちの違いは勿論ある。使う人たちのことを考えて作るという点では同じだけど、仏壇の場合は『先祖様を祀る場所』という心構えで敬意を持って取り掛かるようにしている」。また高山社長は職人の育成もされている。工場長を務める西澤和馬氏もその一人で、「信州の名工」に選ばれた腕利きの木工職人だ。「 कोरोレ」の製作作業の大部分を担っている。





कोरोレ  
 ¥715,000 税込  
 W400 D350 H555



MOVIE



AR

四季折々の自然の色彩を思わせるクラフト感あふれるデザインは、目を惹きつつどの家具にもしっくりきて合わせやすい。じゃばら扉を上にもスライドさせるとクルリと回り込んで内部を彩る。扉を開けても寄木の模様がおしゃれなアクセントに。

#### POINT



じゃばら扉はメープル、ナラ、カエデ、ウォールナット、カバ、ホオ、ブナ、レンガス、クリ、ケヤキと10種類の無垢材を組み合わせて製作。



軽い力でスムーズに上がる扉は、木工職人が調整して仕上げています。扉の動きや持ち手に至るまで、細やかな配慮が感じられる。

## 細部まで木工職人の技が光る扉

54本もの無垢材の板を繋げて、ほどき、調整し、繋げてまた調整…という途方もない作業を10回以上繰り返してこの扉が完成する。西澤工場長は「じゃばらの裏までも見せる構造は今までにありません。仕上げや塗装はとても手がかかり、正直に言うと大変でした」と苦労を語る。しかし完成した仏壇には「我ながらよくできていると思います」と笑顔を見せてくれた。

高山社長に「 कोरोレ」をどういう風に使って欲しいかと尋ねた。「仏像や位牌だけでなく、例えば旅行先のお土産を飾る、思い出の品を入れるとか、色々なアイデアで自由に使って欲しい。洒落たケース、家宝のような感じでね。幅広い年代の多くの人に好かれる仏壇になってくれれば」。





## 塗装の専門家、栗原木工所

埼玉県さいたま市の閑静な場所に工房を構える栗原木工所。ショールームには約200種類もの塗装サンプルやこれまでに携わった商品が並ぶ。栗原木工所は、インテリアの内装から家具、あるいは食器といった日用品からギターやソフビ人形など幅広く請け負ってきた塗装のエキスパート。中でも『かつてない鏡面塗装®』は高い評価を得ている。こちらでは、2024年新商品「オペラ」「フラーゼ」と位牌「宝珠」の他、「モンド」「パッサート」「エンブレム」など複数の現代仏壇の製作を行っている。



### 『かつてない鏡面塗装®』とは？

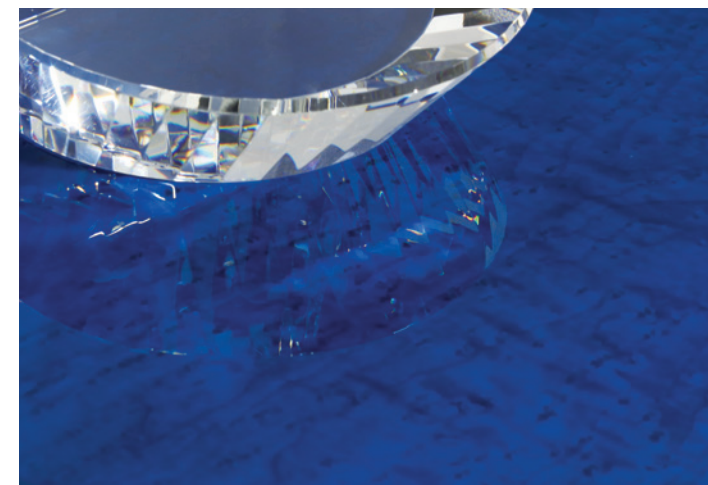
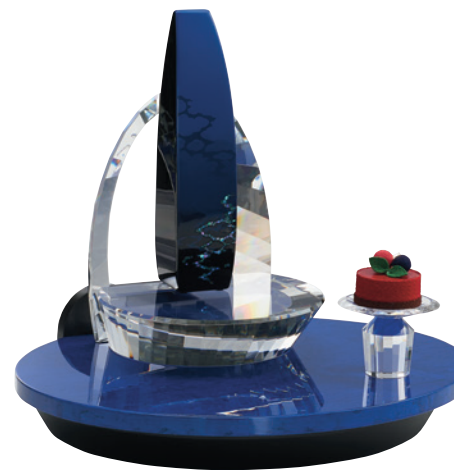
左側のサンプルが一般的な鏡面塗装で、右側が『かつてない鏡面塗装®』。左の板はややぼやけて表面に凹凸が見られるが、右では鏡のように周りの風景がくっきりと映り込む様子が伝わる。専務の栗原章人氏は会津塗の修行を行い、その伝統技法を取り入れつつも現代風にアップデートしてこの高いクオリティの仕上げを生み出した。

※『かつてない鏡面塗装』は(株)栗原木工所の登録商標。

## 工房オリジナルの設備

特注の塗装ブースは水洗式。塗料が舞わず快適且つ綺麗に塗装可能。室内の空気は清浄で、ブース内でも全く塗料が舞っていなかった。塗装に使うスプレーガンも自社開発したものをしている。これによって、扱いの難しい特殊な塗料も噴射できるようになった。

塗装において小さな埃や塵は大敵。少しでも付着すれば仕上がりに影響する。クリーンルームの為、風が起きて埃等が舞うこともない。こうして塗装面を綺麗に保ったまま乾燥させて鏡面に仕上げる。



## 塗料と塗装の秘密

新商品「オペラ」。美しいバーズアイメープルの空目を紺碧に染めた須弥壇に、鏡面塗装の技術が活かされている。通常、木部に青色の塗料を塗ると木材自体の色を拾って緑に発色してしまうが、オペラは塗料メーカーと共同開発した特注の塗料を用いて青に彩色している。量や配分が変われば色も変わってしまうため塗り加減も重要。職人の経験・感覚で塗り重ねて、色に深みを出していく。実は工程で1番時間がかかるのは、塗装後の乾燥。塗装後に1日以上十分に乾燥させ、歪みを整えて塗装を重ね、また乾燥…を合計で7工程繰り返し、手間と時間をかけて完成する。



た ゆ た

# 揺蕩う水面 輝きを宿す 琉球ガラス

沖縄の透き通った海を切り取ったようなエメラルドグリーン<sup>みかげ</sup>の仏具。新商品「水影」は2種の模様がある。「美ら海」は海の底に映る揺らぎを、「美ら波」は名前<sup>ちゆなみ</sup>の通りしぶきを上げる波をガラスの中に閉じ込めた。光を当てれば揺らめく水の影が現れ、ガラス職人による手作業で製作している為一つとして同じ模様はない。



水影 美ら海



水影 美ら波



1.

「水影」は本島の最南端にある沖縄最大のガラス工房、琉球ガラス村にて製作されている。琉球ガラス村では工房の他にもショップや体験教室もあり、琉球ガラスの歴史から道具、作り方まで学ぶことができるため、観光地としても人気が高いスポットだ。工房には現代の名工、沖縄県工芸士に選ばれた腕のある職人たちが複数人所属。元々「水影」は沖縄県工芸士の一人、友利龍氏によって生み出された「水の光と影」をテーマとする器のシリーズだ。「水影 美ら海」と「水影 美ら波」はこのシリーズを仏具として落とし込み、開発されたものである。



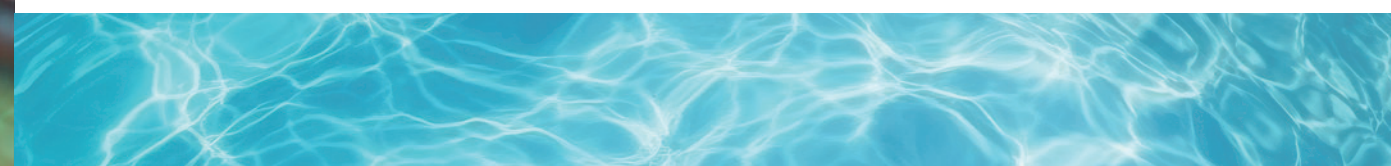
2.

琉球ガラス村では器を作っていく工程を実際に見学することができる。窯の温度は1300℃にも上り、工房内は40℃を超えることも。熱く柔らかいときにしか作業できないガラスの成形は、時間との勝負。窯から出した下玉（最初に巻くガラスの玉の事）に息を吹き込み手早く形を整えていく。作業を繰り返すうちに、水の模様が火の玉みたいなガラスに現れる様子は何度見ても不思議で神秘的な光景に映った。出来上がった器には、ガラス職人が1点1点作り出す美しさを感じることができる。



3.

1. 琉球ガラス村にほど近いビーチ。水影で表現された波の表情を見ることができる。2. ガラスが貼りつけられたカラフルな建物は、撮影スポットとしても人気。3. 一晩かけて原料を溶かした坩堝(るつぼ)窯。ここからガラス作りがスタートする。





# FREELY+特別対談 仏具『水影』の開発秘話



友利龍  
(琉球ガラス職人)

横山憲二  
(八木研商品企画課)

「水影」の生みの親である沖縄県工芸士、友利龍氏。開発に携わった八木研商品企画課の横山と対談という形で、「水影」のルーツや製作の難しさ、友利氏のガラスへの想いを語っていただいた。



—まずは仏具「水影 美ら海」「水影 美ら波」が生まれた経緯についてお聞かせください。

**横山** 全国各産地のおしゃれなガラスを探していたところ、友利さんの「水影」を見つけました。琉球ガラス村で実物を見てその美しさに感動し、是非仏具を作りたいとお願いしたのが始まりです。

**友利** 作品は手作りですので、作り手の気持ちや想いが宿っていると思うんです。そういった僕の想いが横山さんに届いて、気付いてくださったのがとても嬉しく

思います。

—そもそも友利さんがガラス職人になったきっかけは何ですか？

**友利** 母が琉球ガラス村に勤めていて、高校生のときにアルバイトで職人さんのお手伝いをしていました。そこでガラスの魅力に取りつかれたのがきっかけ。その頃から海が大好きで海に近い場所に工房もあるので、海と行き来しながら…という生活でした。

**横山** 「水影」が生まれたのもそういった思い出から？



【水影 - 水龍 -】自身の名前をモチーフとした、代表作の一つ。水影の模様が施されている。

**友利** 海が好きで毎日のように見に行っていたので、海をガラスで表現したいというのが根底にあり、最初の作品も水を表現した花瓶でした。海で過ごす時間が経つのも忘れ、本当に心が休まる大切な時間だと思います。

**横山** ご自身の好きなものを表現するというのが作品にも表れていて、そこが大きな魅力になっているのではないかと。

**友利** やっぱりとりあえずは自分なんです。僕が癒されて気持ち良い、心地いい、そういったものを作りたい、それを表現できたら人にも伝わると思っています。—以前、琉球ガラス村の取り組みとしてヴェネツィアの工房で修行されたと聞きました。

**友利** はい、10年程前に行きました。マエストロ(ヴェネツィアンガラスの熟練職人)のガラスに対する姿勢が本当に研ぎ澄まされていて、とても勉強になりました。

**横山** それから今の「水影」に繋がっている部分はありますか？

**友利** あります!もちろんです。「水影」が生まれたのもヴェネツィア修行に行った後です。その時に学んだ技術や道具も取り入れています。

**横山** なるほど。でも作りたと思って、すぐ形にできるものなのでしょうか？

**友利** いえ、…3年くらいかかりました。下玉にガラスの粉と粒を付けて模様を作ります。製作過程を見ると本当に面白いんですけど、ガラスが自然に模様を作っています。触らないほどイメージに近づくので、崩れないよう触るタイミングを見極めるのが難しく、個

人の感覚でしかできない部分です。

**横山** そこが高い技術ですよね。完成まで試行錯誤されたということですが、今も作るのは難しいですか？

**友利** はい。細心の注意を払うと言いますか、気をつける点を頭の中で考えながら、なるべく触らないように成形しています。特に今回の仏具でも茶湯器や仏飯器のような小さいサイズのもの、吹きガラスだと作りづらい部分もありますね。

**横山** そういえば仏具は、他の作品より厚みがありますよね？

**友利** はい。ガラスは厚みがあるほど綺麗で、海の表現もしやすくなります。厚みは用途に応じて変えるのですが、仏具は厚みがあった方が安定もしますし、より海らしさを表現できるので相性ぴったりだと思います。

—最後にこの仏具に込めた想いを教えてください。

**横山** 仏壇に入れるとライトが当たって…それが太陽に照らされた海のように見えてとても綺麗で。海の様子が幻想的に表現されていると思います。この仏具が多くのお客様のところに届いて欲しい。故人様が海を好きだったとか、海の仕事をしていた、海に思い入れがある…そういった縁で選ばれる方に伝わるもの、素敵なものだと思います。

**友利** 僕としても、ガラスには心が休まる場所を表現しているの…使っていくうちにご家族の思いや、幸せだったり安らぎだったり、お客様に寄り添うような仏具になってくれれば良いかと願っています。



友利 龍(ともりりゅう)

1979年 八重瀬町生まれ。1999年 琉球ガラス村入社。2017年 沖縄県工芸士認定。



# 私の仏壇コーディネート

仏壇は故人と向き合うことのできる場所。  
あの人を思い浮かべて、自分たちに合うコーディネートを見つけませんか。

## お話ししやすいリビングへ 故人を身近に感じられるように

182ピースものウォールナットの無垢材を組み合わせた扉がチョコレートを思わせる「ショコラ」。薄型設計のため、チェストなどの家具の上にも置きやすく、リビングにもぴったり。木製のフォトフレーム「ティアーズ」に飾った写真を中心に、光線貼りの位牌「レヨン」、信楽焼の六具足「近江」をセットしました。



おしゃれが好きだった母  
一緒にティータイムを

AR



異なる木目と高さのウォールナットのピースを職人が手作業で組み合わせている。

【コーディネート仏壇・仏具】  
仏壇「ガラ ライト 青海波」¥407,000 税込 (W404 D298 H400) / 本尊「現代掛軸ウォールナット S」¥40,700 税込 / 位牌「リーヴァ ダーク」¥57,200 税込 / 五具足「水影 美ら波」¥181,500 税込 / リン「たまゆら パステルスノー」¥19,800 税込 / 「セーズクリアリン台 S」¥13,200 税込 / 位牌「レヨン メープル」¥66,000 税込 / 六具足「近江」¥44,000 税込

海が好きだった夫へ  
波の仏壇仏具を贈りました



AR



## 好きな景色を思い出す 海のコーディネート

扉を開けると組子模様が浮かび、お祀り空間を明るく照らす「ガラ」。シンプルでどんな部屋にも置きやすいコンパクトな仏壇です。コーディネートは海をテーマにし、2種類の選べる柄から「青海波」を選択。位牌は水の中に真珠が浮かんでいるようなデザインの「リーヴァ」、五具足は波をモチーフした琉球ガラスの「水影 美ら波」を合わせました。



扉は両サイドにすっきりと収めることができるので、開けていても幅を取らない。

### 【コーディネート仏壇・仏具】

仏壇「ガラ ライト 青海波」¥407,000 税込 (W404 D298 H400) / 本尊「現代掛軸ウォールナット S」¥40,700 税込 / 位牌「リーヴァ ダーク」¥57,200 税込 / 五具足「水影 美ら波」¥181,500 税込 / リン「たまゆら パステルスノー」¥19,800 税込 / 「セーズクリアリン台 S」¥13,200 税込 / 「たまゆら棒メープル」¥2,530 税込